

◆日本の芸能者集団

a)当道

昔の盲人音楽家の組織。琵琶や箏などの音楽や、鍼灸、あんまなどの医療行為を盲人に適した職業として管理した。三味線など。検校、勾当などの位階があった。



b)民衆的な盲人音楽家集団

(1)瞽女(ごぜ)

新潟を中心としてかつて活動した女性の盲人音楽家集団。数人でチームを組み、三味線にのせて歌う瞽女うたを聴かせた。

(NHK「新日本紀行ふたたび:瞽女うたが聞こえる」など)



(2)津軽三味線(高橋竹山の回想)

明治43年生まれの津軽三味線奏者。昭和40年頃から脚光を浴び、津軽三味線の地位向上と普及に貢献した。

(NHK「高橋竹山・その人生」より)



■津軽三味線の今

高橋竹山ブームの結果、津軽三味線は全国に普及し、普通の人たちが普通に練習して楽しんだり、腕を競ったりする楽器になった。ポップスやロックなど、幅広い領域で活躍する演奏家もたくさん出てきている。ここでは、本学卒業生を含む津軽三味線 Duo、輝&輝を紹介する。

輝&輝(KIKI)

2008年に白藤ひかり、武田佳泉のふたりによって結成された本格派津軽三味線デュオ。それぞれが全国大会で日本一になった経験を持つ。

現在、関東地方を中心に全国的に活動を行っている。演奏曲目は古典である民謡から、POP調・ロック調を取り入れたオリジナル曲やカバー曲まで幅広い。津軽三味線ならではの迫力と、女性らしい繊細さを兼ね備えた表現を目指して日々精進している。

全日本津軽三味線競技会名古屋大会デュオの部にて6度の優勝を果たす。海外への津軽三味線演奏文化の発信が認められ、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局のbeyond2020プログラム初のアーティスト認証を得ることとなった。



映像:2020年度音楽文化論オンライン合同授業より

曲目:もつなべ(オリジナル)、チャルダシュ(モンティ作曲)、「津軽じょんがら節」曲弾き掛合